

# 世界史

第1問 次の文章(1)～(3)を読んで、以下の問いに答えよ。

(1) イスラームにおいて使徒（預言者）の一人とされるムハンマドの死後に、  
初代から第4代までのカリフが共同体 [ (ウ) ] の合意のもと、選挙で選出さ  
れた。しかし、661年に第4代カリフが暗殺されるとムアウィヤがウマイヤ  
朝をおこした。これに対し、第4代カリフとその子孫のみをムハンマドの正当  
な後継者とみなす人々はシーア派を形成した。

その後、ウマイヤ朝は現存する最古のモスクであるウマイヤ=モスクを建て  
るなどして繁栄した。しかし、非アラブ人のイスラーム改宗者である  
[ (ク) ] は、アラブ人と同様の地位や権力を認められないため不満を募らせ、  
たびたび紛争をおこすようになった。遂に [ (ケ) ] 年、ウマイヤ朝はシーア  
派や [ (ク) ] の支持を得たアッバース家によって滅ぼされた。

問1 下線部(ア)に該当する人物として、明らかに**適切でないもの**を以下から選  
べ。

- ① アダム                      ② ダヴィデ王                      ③ イエス                      ④ パウロ

問2 下線部(イ)の就任の順番として、最も適切なものを以下から選べ。

- ① ウマル→ウスマーン→アブー=バクル→アリー  
② ウマル→アリー→アブー=バクル→ウスマーン  
③ アブー=バクル→ウマル→ウスマーン→アリー  
④ アブー=バクル→アリー→ウマル→ウスマーン

問3 空欄(ウ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

- ① ウンマ                      ② ヒジュラ                      ③ ラマダーン                      ④ ハラージュ

問4 下線部(エ)の人物を記述した文aとbの正誤の組み合わせとして、最も適切なものを以下から選べ。 4

a エジプト総督であった。

b 西ゴート王国を滅ぼした。

① a—正 b—正

② a—正 b—誤

③ a—誤 b—正

④ a—誤 b—誤

問5 下線部(オ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。 5

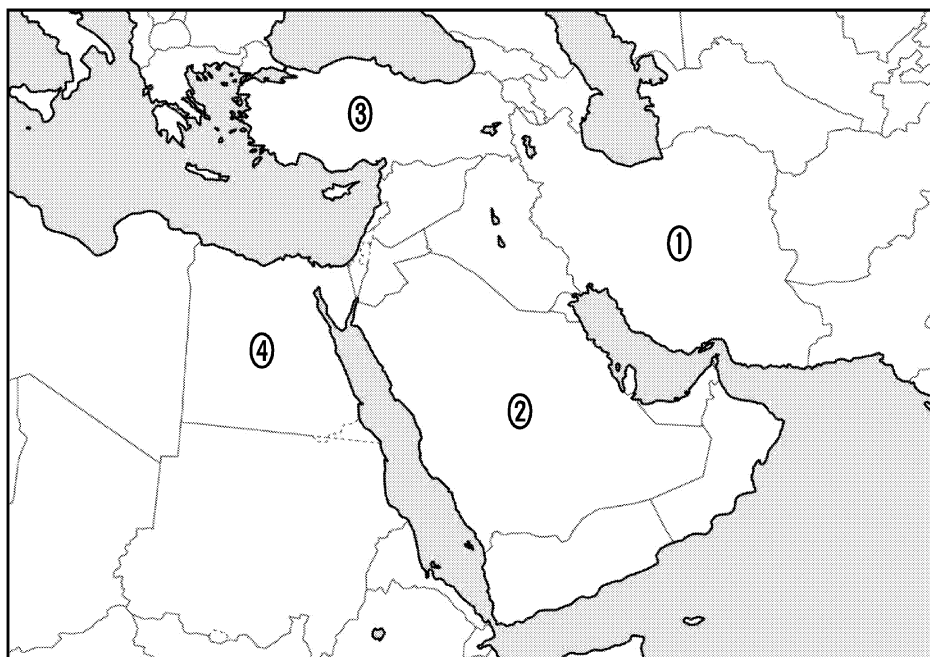
① アンティオキアを都とした。

② カイロを都とした。

③ イベリア半島に領土を拡げた。

④ バルカン半島に領土を拡げた。

問6 下線部(カ)が多数派を占める現代の国家として、最も適切なものを以下から選べ。 6



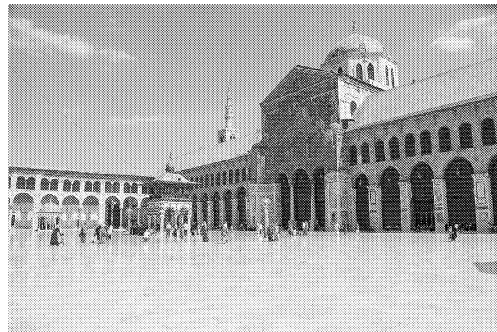
問7 下線部(キ)の写真として、最も適切なものを以下から選べ。

7

①



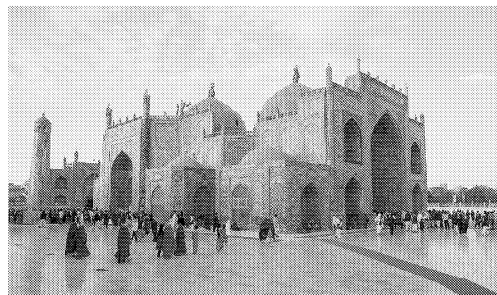
②



③



④



問8 空欄(ク)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

8

- ① イمامム      ② マワーリー      ③ スーフイー      ④ アミール

問9 空欄(ケ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

9

- ① 750      ② 760      ③ 770      ④ 780

問10 下線部(コ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。

10

- ① ニハーヴァンドの戦いで敗北した。  
② トゥール・ポワティエ間の戦いで敗北した。  
③ アナトリア地方を反ウマイヤ朝の地盤とした。  
④ ホラーサーン地方を反ウマイヤ朝の地盤とした。

①～④：ユニフォトプレス提供  
著作権の都合により、類似の写真に差し替えています。

(2) アッバース朝は成立の翌年、タラス河畔で [ (シ) ] と激突して勝利し、その捕虜から [ (ス) ] の技術<sup>(サ)</sup>を学んだと言われている。第2代カリフのマン<sup>(セ)</sup>スールは、新都としてバグダードを造営した。同朝は第5代 [ (タ) ] の時代<sup>(ソ)</sup>に最盛期を迎えた。

しかし、9世紀後半になると非アラブ系ムスリムのサーマーン朝が [ (チ) ] に首都を置いて事実上の独立を果たした。10世紀にはアッバース朝<sup>(ツ)</sup>がさらに弱体化し、各地でイスラーム国家が林立する状況にあった。11世紀には、アッバース朝のカリフからスルタンの称号を得た別の王朝が台頭した。<sup>(テ)</sup>

問11 下線部(サ)の位置として、最も適切なものを以下から選べ。

11



問12 空欄(シ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

12

- ① フランク王国
- ② ビザンツ帝国
- ③ 隋
- ④ 唐

問13 空欄(ス)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

13

- ① 三圃制
- ② 重量有輪犁
- ③ 製紙
- ④ 白磁

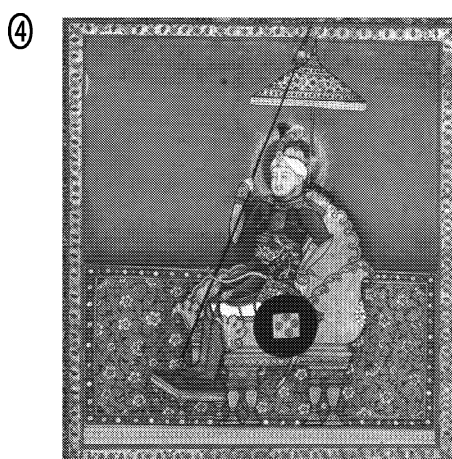
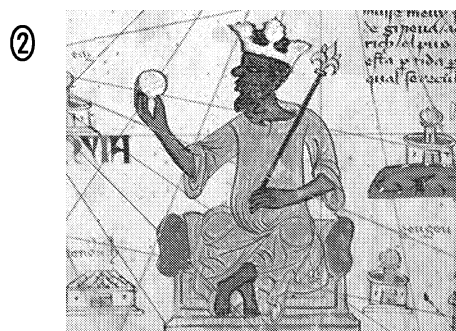
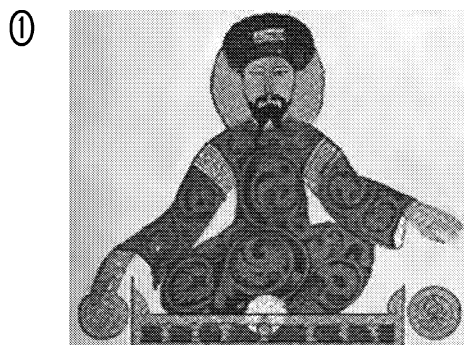






問23 下線部(ヌ)の人物を描いたものとして、最も適切なものを以下から選べ。

23



問24 下線部(ネ)に参加した人物として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。 24

① ルイ9世

② リチャード1世

③ フィリップ2世

④ フリードリヒ1世

問25 下線部(ノ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。 25

① 第4回十字軍にも参戦した。

② シチリア王位を継承した。

③ ドイツ騎士団を創設した。

④ サラディンの妹を妻に迎えた。



第2問 次の文章(1)～(4)を読んで、以下の問いに答えよ。

(1) 1848年2月にパリでおこった二月革命、同年3月にドイツ連邦諸邦でおこった三月革命の影響を受けて、イタリアでも民族運動が高揚し、中部イタリアでは「青年イタリア」の〔エ〕らが〔オ〕共和国を建設したが、教皇の要請を受けた〔カ〕軍により倒された。

問1 下線部(ア)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。 26

- ① 国王ルイ=フィリップが処刑された。
- ② 成立した臨時政府に社会主義者のサン=シモンが参加した。
- ③ 1848年4月の男子普通選挙で社会主義者たちは大敗した。
- ④ 1848年6月に社会主義者たちはパリ=コミューンと言われる自治政府を樹立したが、保守派によって鎮圧された。

問2 下線部(イ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。 27

- ① カニングの主唱した正統主義の原則にもとづいて成立した。
- ② 35の君主国と4つの自由市から構成された。
- ③ ドイツ連邦構成国とドイツ関税同盟加盟国は完全に一致した。
- ④ ドイツ連邦はウィーン体制崩壊とともに最終的に解体した。

問3 下線部(ウ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。 28

- ① ウィーンでおこった蜂起はメッテルニヒによって鎮圧された。
- ② ベルリンでおこった蜂起でプロイセン国王はロンドンに亡命した。
- ③ プロイセンで自由主義内閣が成立した。
- ④ ドイツ統一のためにフランクフルトにドイツ連邦議会が招集された。

問4 空欄(エ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 29

- ① マッツイーニ
- ② マルクス
- ③ マルロー
- ④ マンデラ



問9 下線部(ケ)に関する説明として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。

34

- ① 地名はゲルマン人の部族国家ランゴバルド王国に由来する。
- ② 中世にはこの地方の諸都市が教皇に対抗して同盟を結成した。
- ③ 中心都市はミラノである。
- ④ ウィーン会議によりオーストリア領となった。

問10 空欄(コ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

35

- ① コルシカ      ② トスカナ      ③ ニース      ④ ピエモンテ

問11 下線部(サ)に関する説明として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。

36

- ① 9世紀にノルマン人が建てたノルマン=シチリア王国を起源とする。
- ② 13世紀にシチリア王国とナポリ王国に分裂した。
- ③ ウィーン体制下で再統合され、両シチリア王国を名乗った。
- ④ 両シチリア王国を占領し、献上したのはガリバルディであった。

問12 下線部(シ)の結果結成された北ドイツ連邦を構成した地域・邦として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。

37

- ① シュレスヴィヒ      ② ホルシュタイン
- ③ ザクセン      ④ バイエルン

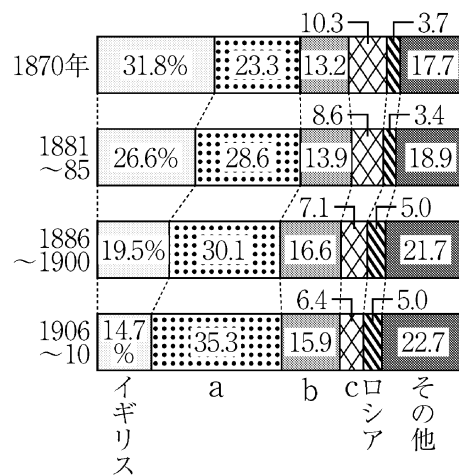
問13 下線部(ス)に関する説明として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。

38

- ① 寄進を行ったピピン（小ピピン）はカール=マルテルの子である。
- ② 寄進は、ローマ教皇がピピンにフランク王位の継承を認めたことへの返礼であった。
- ③ ピピンはランゴバルド王国を滅ぼして奪った地を教皇に寄進した。
- ④ ピピンが寄進したのはラヴェンナ地方である。

(3) 19世紀後半になると、重化学工業・電機工業・石油産業を中心とする新しい産業が誕生した。主要国の資本主義が発展し、相互の競争が激しくなると植民地の重要性が見直され、まだ植民地となっていない地域を占有しようとする動きが高まる。この動きが帝国主義である。アフリカでは、1880年代初めに [ (ソ) ] 地域をめぐるヨーロッパ諸国の対立が生じると、1884～85年に国際会議が開催され、 [ (チ) ] 国王の私有領として [ (ツ) ] <sup>(タ)</sup>自由国の設立が認められるとともに、アフリカ植民地化の原則が定められた。このうち、ヨーロッパ列強はアフリカに殺到し、その大部分を分割して植民地にした。イタリアもこうした動きに乗じて、1880年代に [ (ツ) ] を獲得する。1911～12年にはオスマン帝国と戦争し、同国からトリポリ・キレナイカを奪って、ここを古名の [ (テ) ] に改称した。

問14 下線部(セ)に関して、下のグラフは、19世紀後半から、20世紀初頭にかけての世界の工業生産の国別割合を示したものである。最も適切な組み合わせを以下から選べ。 39



- ① a—ドイツ                      b—アメリカ                      c—フランス
- ② a—アメリカ                      b—フランス                      c—ドイツ
- ③ a—ドイツ                      b—フランス                      c—アメリカ
- ④ a—アメリカ                      b—ドイツ                      c—フランス

問15 空欄(ソ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 40

- ① コンゴ            ② ケニア            ③ スーダン            ④ オレンジ

問16 下線部(タ)の会議が開催された都市と主催者の組み合わせとして最も適切なものを以下から選べ。 41

- ① ロンドン—ディズレーリ            ② パリーティエール  
③ ベルリン—ビスマルク            ④ ロンドン—グラッドストーン

問17 空欄(チ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 42

- ① オランダ            ② デンマーク            ③ スペイン            ④ ベルギー

問18 空欄(ツ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 43

- ① ソマリランド            ② ウガンダ  
③ カメルーン            ④ トーゴ

問19 空欄(テ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 44

- ① エリトリア            ② リビア  
③ シエラレオネ            ④ リベリア

(4) フランスが [ (ト) ] を保護国化したのに不満を抱いたイタリアは、1882年にドイツ・オーストリアと三国同盟を結んだが、オーストリアとのあいだには「未回収のイタリア」をめぐる対立があった。第一次世界大戦がはじまるとイタリアは三国協商側との秘密外交で協商国側に立って参戦した。戦勝国となったイタリアであるが、パリ講和会議では発言力がなく、期待した領土拡大を実現できなかった。

問20 空欄(ト)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 45

- ① モロッコ            ② アルジェリア  
③ チュニジア            ④ スーダン

問21 下線部(ナ)の地域として、明らかに適切でないものを以下から選べ。

46

- ① トリエステ            ② フィウメ            ③ アルバニア            ④ 南チロル

問22 下線部(ニ)に関して、第一次世界大戦中の出来事の時間順として最も適切なものを以下から選べ。 47

- ① タンネンベルクの戦い→アメリカの参戦→ドイツの無制限潜水艦作戦開始→ブレスト=リトスフク条約締結
- ② ドイツの無制限潜水艦作戦開始→タンネンベルクの戦い→アメリカの参戦→ブレスト=リトスフク条約締結
- ③ タンネンベルクの戦い→ドイツの無制限潜水艦作戦開始→アメリカの参戦→ブレスト=リトフスク条約締結
- ④ ドイツの無制限潜水艦作戦開始→ブレスト=リトフスク条約締結→タンネンベルクの戦い→アメリカの参戦

問23 下線部(ヌ)に関して、三国協商を形成する3つの二国間関係の成立の時間順として、最も適切なものを以下から選べ。 48

- ① 英仏協商→露仏同盟→英露協商      ② 露仏同盟→英仏協商→英露協商
- ③ 英仏協商→英露協商→露仏同盟      ④ 露仏同盟→英露協商→英仏協商

問24 下線部(ネ)に関して、第一次世界大戦後のオスマン帝国領の扱いについて、イギリス、フランス、ロシア三国間で結ばれた秘密協定として最も適切なものを以下から選べ。 49

- ① ロンドン秘密条約
- ② サイクス・ピコ協定
- ③ フセイン（フサイン）・マクマホン協定（書簡）
- ④ ラパロ条約

問25 下線部(ノ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。 50

- ① 中国による山東のドイツ利権返還の提訴を受け入れた。
- ② 日本は赤道以北のドイツ領南洋諸島の委任統治権を得た。
- ③ アメリカは自国の植民地の放棄を約束した。
- ④ 敗戦国は会議への参加は認められたが、決定には関与できなかった。